

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームひだまり

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：2026年5月29日（金）14時～15時

会場：特別養護老人ホームひまわり園 大会議室

出席者
（人数）

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	1人	高齢者あんしん支援 センター職員	0人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他			4人

（議題）

1. ひだまり入居者状況について（5月27日現在）

- ・入居者数～15名
男性6名・女性9名
※退居 3名（要介護3・女性・97歳）5/5死去
（要介護5・女性・94歳）5/20死去
（要介護4・女性・88歳）5/22入院中であつたが帰園難しいとの判断
※入院 1名（要介護4・女性・88歳・貧血脱水）5/1～（上記退居者と同一人物）
※外泊 2名（要介護3・女性・89歳）4/3～7・17～21・5/1～7・21～25
（要介護2・女性・93歳）4/28～29
- ・平均介護度～2.53
要介護1（2名）要介護2（6名）要介護3（5名）要介護4（1名）要介護5（1名）
※介護度変更申請していた方2名（要介護1→4に変更、要介護3→5に変更）
- ・平均年齢～89.08歳（男性87.38歳、女性89.93歳）
- ・移動手段について
歩行（杖歩行含む）6名
シルバーカー・歩行器6名
車椅子3名（うち介助3名）
※歩行器使用の方のうち、3名は見守りが必要。状況に応じて車いす使用。
※5月に圧迫骨折された方、現在は安静のために車いす使用。それ以前は2本杖での歩行。
- ・食事の摂取状況
自立11名・見守り0名・要介助4名
※要介助は1名が全介助、3名が一部介助。
- ・自分の部屋の理解
分かる11名・たまに忘れる2名・分からない0名・不明2名

2. 活動報告（4月～5月）（スライドを使用して活動の様子を紹介）

- お花見（4月1日・2日・3日）：平成温泉・十楽寺
- ひだまり内でのお花見（4月17日）：施設内の八重桜の下でのお茶会
- お好みメニュー（4月8日：おはぎ）（5月13日：生姜ご飯）
- ひだまりカフェ（5月16日：抹茶どら焼き）
- 介護相談員来訪（4月7日）
- 園内職員研修（5月21日）
- 先輩後輩研修（5月9日）：入職3年目の職員1名参加
- 総合防災訓練（5月27日：ひだまり）
- 誕生日会

3. 2026 年度活動計画

- ・花見（4 月）
- ・遠足（6 月・10 月）
- ・神西湖花火見物（8 月）
- ・敬老会（9 月）
- ・クリスマス会（12 月）
- ・忘年会（12 月）
- ・新年会（1 月）
- ・節分（2 月）
- ・ひだまりカフェ（5 月・7 月・11 月・3 月）
- ・お好みメニュー（毎月第 2 水曜日）

研修計画

- ・法人主催の各種研修への参加
- ・全職員対象の園内研修（5 月から毎月 1 回開催）
- ・外部研修への参加

4. ひだまりの日常の様子（スライドを使用して報告）

- 家事（洗濯物たたみ、調理、草取りなど）
- アクティビティ（風船バレー、体操、紙芝居、散歩など）
- 個別活動（パズル、切り絵、塗り絵、間違い探し、買い物など）
- 面会
- 入居者同士の関わり

【意見交換より】 ※各報告途中での意見・補足等も含む

（ひだまり）

入居者状況について本日の報告以外に確認したいことはありませんか。

（有識者）

食事形態についてお聞きしたいです。自施設では、食事の内容によって刻んだりミキサー食にしたりしています。咽られる方にはトロミ剤を使用しています。ひだまりでは普通食ですか。

（ひだまり）

ほとんどの方が普通食です。硬いものはあら刻みで食べやすくしています。4 名の方がソフト食です。ソフト食提供の理由は、咀嚼・嚥下が難しい方が 2 名、胃腸障害があり消化の良いものである必要がある方が 2 名です。誤嚥性肺炎防止のために、トロミ剤を使用している方は多いです。

（市役所）

食事や排泄は意外と自立している方が多いと思います。排泄状況はどうなっていますか。

（ひだまり）

ほとんどの方がトイレを使用されます。ポータブルトイレ使用の方は 2 名ですが、夜間だけはポータブルトイレ使用という方もおられます。ベッド上での交換が 2 名で、夜間のみベッド上交換の方が 3 名おられます。

（元入居者家族）

ベッド上交換は定期的に行われていますか。

（ひだまり）

定時で行っています。排泄状況は一人一人異なるため、その方に合わせた時間を設定しています。季節によって排泄量が異なることも考えられます。排泄量によって、パットの検討をしています。その都度、職員間で情報共有しています。

（ひまわり園副施設長）

入居者 18 名に対して夜勤者 2 名体制ですので、きめ細かいケアができています。特養では難しいです。

（地域住民代表）

ナースコールを使える方はどのくらいおられますか。

（ひだまり）

ナースコールを使える方は少ないです。ナースコールという認識がない方もおられますし、意味の理解なく押される方もあります。ナースコールについて理解し活用されている方もおられます。

（地域住民代表）

グループホームなのに要介護 5 の方も入居できるのですか。

(ひだまり)

入居は可能です。

(ひまわり園副施設長)

グループホームで看取りもできます。5月から看取り対象の方には看取り加算を算定することになりました。

(元利用者家族)

特養では看取りはできないのですか。

(ひまわり園副施設長)

特養でも看取りをしています。今までも看取りさせていただいていましたが、この5月から加算を算定させてもらうことにしました。特養でも、月に1~2名の看取りがあります。

(ひだまり)

今月お看取りした2名は老衰です。主治医から説明を受けたご家族の意向でのお看取りです。2名の方は点滴等も行わず自然な形で最期を希望されましたので、そのように対応しました。現在入院しておられる方は、延命治療を希望されたため、意向に沿って入院され加療されています。

(元利用者家族)

グループホームでの看取りは主治医の制限があったように思います。往診できる場所でないとはいけないのですか。

(ひまわり園副施設長)

ひだまりは看護師1名体制なので、対応できる医療行為に制限があります。その対応で良いと判断された場合、お看取りさせてもらっています。主治医は往診対応の医療機関であることが必要です。往診対応でないと看取りはできません。

(元利用者家族)

主治医はそれぞれ異なっていますか。

(ひまわり園副施設長)

特養は市民病院と決まっています。グループホームは在宅扱いなので、個々に主治医が違います。多くの方は往診してもらえ医療機関にお願いしています。家族さんが受診対応しているところもあります。

(ひまわり園副施設長)

研修に関して補足すると、法定研修を毎月行っており、全職員がいずれかに参加できるようにしています。新人研修は3か月に1回行っています。勤務の兼ね合いもありますが、できるだけ参加できるようにしています。

(地域住民代表)

正規職員とパート職員の割合が知りたいです。

(ひまわり園副施設長)

現在、正規職員が7割、パート職員が3割くらいです。以前より、正規職員の割合が高くなっています。研修は、正規・パート関係なく受けられるようになっています。

(利用者家族)

まだ入居して3か月なのですが、慣れてきたように感じます。

(地域住民代表)

皆さんの表情が良いですが、老人性うつの方はおられませんか。

(ひだまり)

以前はおられましたが、現在はおられません。

(ひまわり園副施設長)

活動的だと笑顔が増えます。グループホームでは多くの活動を行うようにしています。

(地域住民代表)

面会制限はありませんか。

(ひだまり)

現在はありません。人数も時間も制限はありません。赤ちゃんの来園もあります。子どもの来園は皆さん喜ばれます。

(市役所)

皆さん仲がよいように感じます。認知症の進行はありますか。進行がないように感じます。

(ひだまり)

認知症の進行はあります。排泄や食事などいろいろな場面でできたことができなくなるなどありますので、必要に応じ対応の変更をしています。

(元利用者家族)

入院しておられた方が、退院された際に認知症は進んでいますか。

(ひだまり)

できる限り入院前の生活に戻れるように支援しています。

骨折で入院していた方が、入院という環境変化で、食事量が減りミキサー食に変更になったり、咽ることが増えトロミが必要になったり、オムツになっていたりといういろいろ変化がありました。退院後、食事形態をソフト食から刻み食、その後普通食と戻すことができます。水分のトロミも徐々に減らし、現在はトロミなしでも咽ることはありません。排泄に関しても、現在はトイレ使用されています。ほぼ入院前の生活に戻っておられます。

(元利用者家族)

入院前の生活に戻すのは退院直後からですか。

(ひだまり)

徐々に行います。人によって異なりますが、1 ヶ月くらいで入院前の生活に戻る方もおられます。入院が長いと、戻るにも時間がかかります。入院されても入院生活はなるべく短期間を望んでいます。入院先の医師もひだまり職員も同じ思いだと思います。

次回案内

日時…2026 年 7 月 31 日 (金) 14 : 00～15 : 00

場所…特別養護老人ホームひまわり園